

現地レポート／稲見 華恵（物理科学研究科 宇宙科学専攻）

派遣先：米国

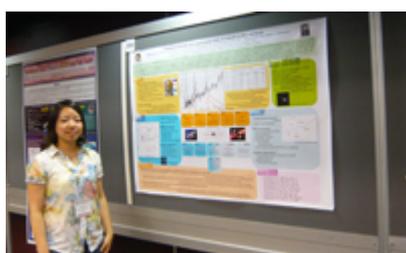
派遣先機関名：カリフォルニア工科大学

派遣期間：2008年5月21日～2008年7月31日

2008年7月21日報告分

授業・研究の進捗状況

SPIE, COSPAR と2つの国際学会で今回の滞在目的である、ミリ波広帯域分光装置 Z-Spec のデータ解析の結果を発表することができた。残り10日ほどの滞在中、今回の滞在中で学んだことのまとめをする。



モントリオールでの国際学会 COSPAR での発表

生活関連状況

ノートPCがクラッシュするという重大事件が起きたが、こちらで新しくできた友人や教授方に助けていただき、米国のサービスセンターへ発送し修理を完了させることができた。彼らに非常に感謝している。

その他報告すべき事項

とくになし

2008年6月20日報告分

授業・研究の進捗状況

ミリ波広帯域分光装置 Z-Spec のデータ解析・その技術習得が本務であり、日本にはそれが出来る人がおらず今まで解析があまり進められなかったり、深く理解することが出来なかった。だが、こちらでは中心的に解析を進めている研究者と

毎日直に議論をすることができ、作業の効率が非常によく、理解も早い。解析技術取得とともに、現在は国際学会（SPIE）での発表準備も併せて順調に進めている。



カルテクの看板

生活関連状況

カリフォルニアらしく、気候が非常によく体調も崩さずに研究に集中できている。パサデナは治安も良く、安全に生活することができている。ホームステイ先でも、ホストともルームメイトとも仲良く過ごせていて、特に大きな問題はない。すこぶる順調である。

その他報告すべき事項

とくになし



到着したばかりの頃、この紫色の花が満開でした。後ろに見えている建物は、NASA が打ち上げた Spitzer という赤外線天文衛星の Spitzer Science Center です。



SPIE の会場です。開催場所はフランスのマルセイユでした